

官民連携 (PPP / PFI) 事業の推進に向けた  
首長意見交換会



新居浜市

平成28年12月27日 (火) 14:00~16:00

◎新居浜市の紹介



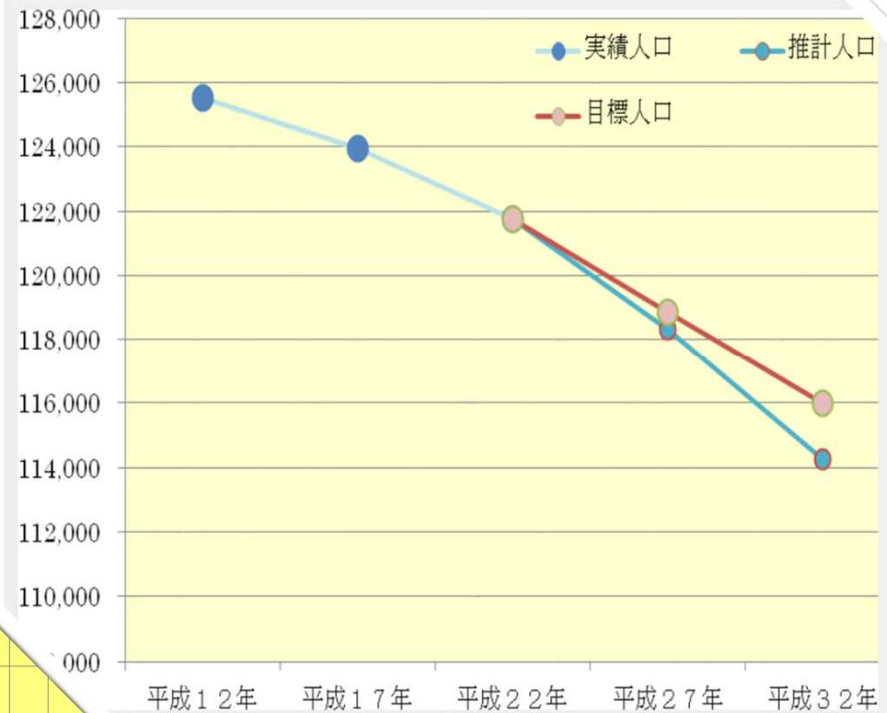
人口:121,677人(11月末現在)  
面積:234.46km<sup>2</sup>  
主産業:工業



# ◎本市のまちづくりにおける課題

人口の減少

## ■将来人口の推計と目標



## 公共施設の将来更新費用の試算



公共施設更新費用の増大



## ◎本市の官民連携事例紹介

### ●新居浜市ものづくり産業振興センター

- ・開 所:平成23年10月5日
- ・場 所:新居浜市阿島
- ・構 造:鉄骨2階建
- ・面 積:敷地 約2,871㎡  
建物 約1,816㎡
- ・管理運営:非営利型一般社団法人  
新居浜ものづくり人材育成協会



### ★整備の経緯

市内ものづくり産業界において、熟練技術者の高齢化が目立ち始める

ものづくり産業界において、技術・技能の継承に不安感が高まる

ものづくり産業の技能・技術を身につけ、継承していく施設の建設を**決定**

★整備の方針

施設建設は行政、  
設備・運営は民間

公設民営で！



- 施設建設後、非営利型一般社団法人新居浜ものづくり人材育成協会に貸与

非営利型一般社団法人新居浜ものづくり人材育成協会

(新居浜機械産業協同組合、新居浜商工会議所、えひめ東予産業創造センター、  
西条鉄工団地協同組合、住友各社及び地域企業により組織)

受講料

会費

各社からの  
支援



## ●マイントピア別子

平成3年、新居浜市発展の礎となった別子銅山の採鉱本部跡地に、新居浜市と第三セクター株式会社マイントピア別子が主体となり、開業。第3セクターが鉱山鉄道、観光坑道、新居浜市が温泉保養センターを設置。運営及び管理業務に関しては、株式会社マイントピア別子に業務委託。

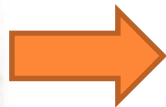


経営赤字、施設設備の老朽化等の問題から、平成23年度から25年度に、温泉保養センターの廃止・存続を検討。

平成27年8月、温泉施設の縮小、子供用遊戯施設の設置、空調設備や照明設備等の更新に取り組むこととし、改修工事着手。

平成28年4月、新居浜市が温浴施設「別子温泉～天空の湯～」と子供用遊戯施設「あかがねキッズパーク」等からなる、新居浜市観光交流施設を設置。指定管理者制度と利用料金制を採用。

旧温泉保養センター



別子温泉～天空の湯

公募の結果、株式会社マイントピア別子が指定管理者に(指定管理委託料の支払いは、なし)

効果

指定管理者制度の導入により、施設の指示命令系統が一本化され、営業展開や管理運営の効率化・円滑化につながった。

+

新居浜市の施設管理費(業務委託費等)や人件費等の大幅な削減につながった。



あかがねキッズパーク

平成28年4月から11月までの施設全体の利用者  
54万6684人  
平成26年同時期  
35万1528人

156%増

